

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
37	15-16	<u>ペルシア帝国</u> (アケメネス朝) をきずいた。 前 550～前 330	<u>アケメネス朝ペルシア帝国</u> をきずいた。 前 550～前 330
60	地図	別紙 1 参照	別紙 1 参照
61	左下写真	別紙 1 参照	別紙 1 参照
91	11-13	これ以降、内地にも置かれるようになった節度使は、行政・財政権を手中に入れた軍閥 (藩鎮) として各地に割拠した。	安史の乱以降節度使は内地にも置かれるようになり、行政・財政権を手中に入れた軍閥 (藩鎮) として各地に割拠した。
152	1-6          上写真キャプション 1-8	<p>教皇グレゴリウス 7 世は国内聖職者の任命権をもつ神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世と衝突し、彼を破門した (聖職叙任権闘争)。宗教ぬきの世界は考えられなかったこの時代に、教会による破門は、世俗の支持すら失いかねない厳罰を意味し、結局 1077 年、皇帝は教皇を訪ねて謝罪した (カノッサの屈辱)。その後も教皇と皇帝の対立はつづき、12 世紀はじめのヴォルムス協約<sup>1122</sup>で政教分離の妥協が成立し、皇帝は聖職者の任命権を失った。</p> <p>カノッサ城主 (右) とクリュニー修道院長 (左) に教皇へのとりなしをたのむハインリヒ 4 世 (中央)。皇帝は北イタリアのカノッサ城に滞在していた教皇を訪れ、雪のなかで 3 日 3 晩待たされたあと破門を解かれた。</p>	<p>教皇グレゴリウス 7 世は国内聖職者の任命権をもつドイツ王 (のちの神聖ローマ皇帝) ハインリヒ 4 世と衝突し、彼を破門した (聖職叙任権闘争)。宗教ぬきの世界は考えられなかったこの時代に、教会による破門は、世俗の支持すら失いかねない厳罰を意味し、結局 1077 年、ハインリヒ 4 世は教皇を訪ねて謝罪した (カノッサの屈辱)。その後も教皇と皇帝の対立はつづき、12 世紀はじめのヴォルムス協約<sup>1122</sup>で政教分離の妥協が成立し、皇帝は聖職者の任命権を失った。</p> <p>北イタリアのカノッサ城主 (右) とクリュニー修道院長 (左) に教皇へのとりなしをたのむハインリヒ 4 世 (中央)。当時、神聖ローマ帝国君主のドイツ王は、教皇に戴冠されるまでは皇帝を名のることができなかった。</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
225	4-5	貿易の縮小により財政が逼迫し、経済はいつそう混乱した。	貿易の縮小により財政が逼迫し、 <u>交鈔の乱発もあり</u> 経済はいつそう混乱した。
439	さくいん	交鈔 174, 182, 184	交鈔 174, 182, 184, <u>225</u>
231	8-10	そのころ福建沿岸では、台湾を拠点に南シナ海と日本を含めた東シナ海との交易で活躍していた鄭成功が、明王を擁立して、 (1624~62) 台湾を反清勢力の基地とした。	そのころ、福建沿岸で南シナ海と日本を含めた東シナ海との交易で活躍していた鄭成功が明王を擁立して、 <u>オランダの拠点</u> (1624~62) <u>だった</u> 台湾を反清勢力の基地とした。
243	17	スコットランドでは <b>Presbyterians</b> <b>プレズビテリアン</b>	スコットランドでは <b>Presbyterians</b> <b>プレズビテリアン</b>
446	さくいん	プレズビテリアン 243	プレズビテリアン 243
263	年表	別紙 2 参照	別紙 2 参照
352	5	ドイツ領南洋諸島を占領した。	ドイツ領南洋諸島を占領した。 <u>(→p.330 地図)</u>
357	年表	別紙 2 参照	別紙 2 参照
403	写真キャプション	左から、周恩来 (Zhou Enlai)、マーシャル、朱徳 (Zhu De)、右端は毛沢東 (Mao Ze dong)。	左から、周恩来 (Zhou Enlai)、マーシャル、朱徳 (Zhu De)、右端は毛沢東 (Mao Ze dong)。
412	地図	別紙 3 参照	別紙 3 参照
424	7	その範囲は拡大している。	その範囲は拡大している。 <u>(→p.412 地図)</u>

427	15-18	<u>EUなどの地域統合体は、地球規模での単一な規範では処理しきれない問題を地域で解決する場を提供し、グローバル化を補完する役割をもつとともに、域内の国からみれば、一体化した世界の金融、経済面でのリスクの影響を直接的に受けないようにする装置となっている。</u>	[削除]
430	11-12 小見出し  25	<u>ヨーロッパ統合と地域統合の広がり</u>  <b>連合（AU）</b> が組織された。	<u>ヨーロッパ統合と地域統合の課題</u>  <b>連合（AU）</b> が組織された。 <u>EUなどの地域統合体は、地球規模での画一的な規範やリスクに対応しつつ、地域内部で問題解決する装置であり、いわばグローバル化の補完物であったが、競争に勝ち抜くために設けられた地域内での高い規範が構成国を圧迫し、統合体の維持が困難になる局面もみられる。</u>
438	さくいん	核拡散防止条約（NPT） 394, <u>428</u>	核拡散防止条約（NPT） 394, <u>427</u>
448	さくいん	NPT 394, <u>428</u>	NPT 394, <u>427</u>
446	さくいん	包括的核実験禁止条約（CTBT） <u>428</u>	包括的核実験禁止条約（CTBT） <u>427</u>
448	さくいん	CTBT <u>428</u>	CTBT <u>427</u>

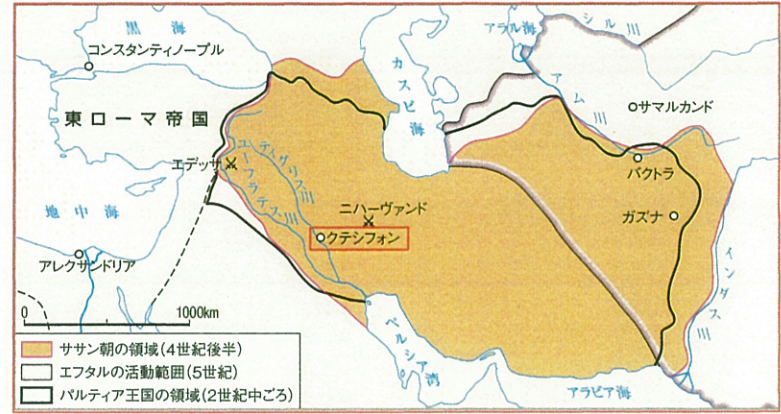
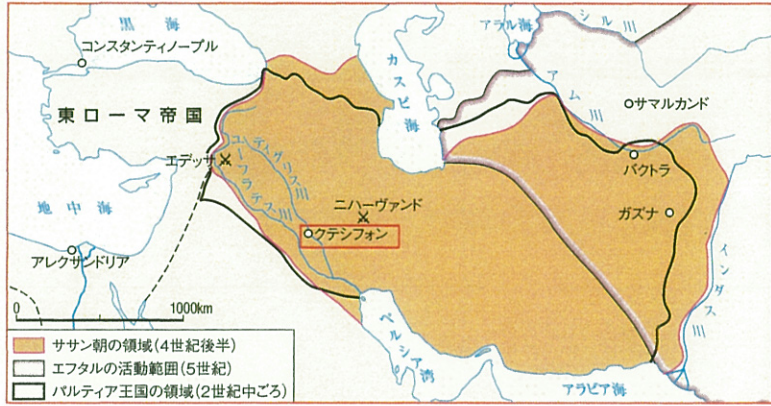
429	2-6	<p>196 の国と地域がパリ協定に合意した。</p> <p>この過程は、国家間の交渉と調整によって<u>環境問題を解決することの困難さとともに、その可能性を示した。今後は、企業や NGO、そして個人の取り組みが問われている。</u></p>	<p>196 の国と地域がパリ協定に合意した <u>(16 年発効)</u> が、<u>合衆国は 2017 年に誕生したトランプ政権が同協定からの離脱を表明した。この協定をめぐる交渉過程は、国家間の交渉と調整による環境問題解決の可能性と困難さを示している。</u>今後は、<u>企業、NGO、個人の取り組みが問われている。</u></p>
428	写真	別紙 3 参照	[削除]
429	写真	別紙 4 参照	別紙 4 参照
429 -430	21-10	<p>アメリカ合衆国は、21 世紀に入っても依然として世界第一の経済力、軍事力を有する超大国であり、自由、民主、平等などの理念をかかげ、国際秩序形成や地球的問題群の取り組みでも<u>もつとも大きな影響力をもっている。</u>合衆国は、<u>ヒスパニック系、中国系、インド系などの移民を受けいれ、社会の高齢化を抑制しつつ、人口増加や技術革新などにより一定の経済成長を維持しているが、社会保障問題などに由来する財政問題など、深刻な国内問題も多く、これまでの優位性を維持するのが難しくなっている。</u></p> <p>2001 年 9 月 11 日、<u>ニューヨークの世界貿易センタービルなどに、ハイジャックされた旅客機が衝突し、3000 人以上の市民が犠牲となった (9.11 事件)。</u>この事件は、アルカーイダによる、合衆国を中心とする世界秩序への挑戦であった。これに対し、合衆国のブッシュ大統領 (共和党) は「テロとの戦い」を宣言し、<u>イギリスなどと多国籍軍を編成して、アルカーイダの根拠</u></p>	<p>アメリカ合衆国は、21 世紀に入ってから依然として世界第一の経済力、軍事力を有する超大国であり、自由、民主、平等などの理念をかかげ、国際秩序形成や地球的問題群への取り組みでも<u>強い影響力をもっている。</u>合衆国は、<u>多くの移民を受けいれて社会の高齢化を抑制しつつ、技術革新などにより一定の経済成長を維持しているが、社会格差など、深刻な国内問題も多く、これまでの優位性を維持するのが難しくなっている。</u></p> <p>2001 年 9 月に発生した <u>9.11 事件</u>は、アルカーイダによる、合衆国を中心とする世界秩序への挑戦であった。これに対し、合衆国のブッシュ大統領 (共和党) は、「テロとの戦い」を宣言して、アルカーイダの根拠地であるアフガニスタンを攻撃し、タリバーン政権を崩壊させた。アフガニスタンでは 2004 年に新憲法が制定されて大統領選挙が実施されたが、国内の混乱はつづいている。ブッシュ大統領は、つづいて 2003 年にイラク戦争をお</p> <p style="text-align: right;">(→p.432)</p>

		<p>地であるアフガニスタンを攻撃し、タリバーン政権を崩壊させた。アフガニスタンでは 2004 年に新憲法が制定されて大統領選挙が実施されたが、国内の混乱はつづいている。</p> <p><u>ブッシュ大統領は、つづいて 2003 年にイラク戦争をおこした</u> (→p.432)</p> <p>が、国内外の支持を十分に得ることができず、財政も悪化した。2009 年に初のアフリカ系大統領となった民主党のオバマは、国内での財政問題のみならず、不安定なイラク問題、シリアの内戦、収束しないアフガニスタン問題など、難問をかかえている。</p>	<p>こしたが、国内外の支持を十分に得ることができず、財政も悪化した。</p> <p><u>2009 年に初のアフリカ系大統領となった民主党のオバマは</u> (在職 2009～17)</p> <p>財政問題、社会福祉問題をかかえつつ、イラク問題からは基本的に撤収したものの、アフガニスタン問題には関与しつづけ、また、環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) の推進など東アジア重視の政策をおこなった。2017 年に国内の格差問題を背景に誕生した共和党のトランプ政権は、アメリカ第一主義をかかげ、雇用など国内問題重視の姿勢を示しており、国際秩序維持、形成への関与の低下への懸念が強まっている。</p>
428	23	<p>離脱を表明したが、 (→p.430 コラム)</p>	<p>離脱を表明したが、 (→p.429 コラム)</p>
429	下写真	別紙 4 参照	別紙 4 参照
	下写真キャプション	<p>白煙をあげてくずれ落ちる世界貿易センタービルから逃げる人々。</p>	<p>2001 年 9 月 11 日、ニューヨークの世界貿易センタービルなどに、ハイジャックされた旅客機が衝突し、多くの犠牲者を出した。写真は、白煙をあげてくずれ落ちる世界貿易センタービルから逃げる人々。</p>
431	29	<p>東アジア地域包括的経済連携 Regional Comprehensive Economic Partnership</p>	<p>Regional Comprehensive Economic Partnership 東アジア地域包括的経済連携</p>

432	6	<b>イラク戦争</b> (→p.430)	<b>イラク戦争</b> (→p.429)
	12	ブッシュ大統領 (→p.428,430)	ブッシュ大統領 (→p.428,429)
436	さくいん	イラク戦争 <u>430</u> , 432	イラク戦争 <u>429</u> , 432
445	さくいん	ブッシュ (子) 428, <u>430</u> , 432	ブッシュ (子) 428, <u>429</u> , 432
432	1	<u>Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement</u> <small>れんけい</small> の国は、環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP)	の国は、環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP)
448	さくいん	TPP 432	TPP <u>430</u> , <u>432</u>
431	17	サイバー空間で多くの懸案をかかえている。	サイバー空間で多くの懸案をかかえている。 <u>習近平政権は、胡錦濤政権の対外政策を継承しつつ、南シ</u> <u>ナ海などでの海洋進出をいっそう強化し、他方で「一带一路」構</u> <u>想などの地域構想をかかげている。国内では軍改革や反腐敗闘</u> <u>争を進めるなどして、集団指導体制から習国家主席の権力集中</u> <u>をはかりつつある。</u>
	22-23	<u>各国で中国との経済関係が深まるなか、中国に対する各国国</u> <u>内の反発も強く、中国との関係をいかに保つか</u> が各国の課題と <u>なっている。</u>	[削除]

441	下写真 さくいん	別紙 5 参照  重金主義 252	別紙 5 参照  重金主義 252 <u>習近平 431</u>
431	年表	別紙 5 参照	別紙 5 参照
432	側注⑭	<u>拡大した協定交渉</u> には日本も参加している。	協定には日本も参加している。
438	さくいん	カラコルム <u>179</u>	カラコルム <u>180</u>
後ろ見 返し	年表 (ラテンアメリ カ諸国)	別紙 6 参照	別紙 6 参照
441	さくいん	<u>スターリン</u>  <u>362, 375, 383, 394</u>	<u>スターリン 362, 375, 383, 394</u>
182	上コラム10-15	<u>服装の面でも多くの影響を受け、南北朝時代の後醍醐天皇の礼装は、元朝のモンゴル人貴族の服になったものであったといわれる。</u>	[削除]
445	さくいん	別紙 7 参照	別紙 7 参照
183	5-7	1259年、高麗はモンゴルに降伏し、高麗国王に冊封される形でモンゴルの属国(外藩国)になった。	1259年、高麗はモンゴルに降伏し、 <u>翌年</u> 、高麗国王に冊封される形でモンゴルの属国(外藩国)になった。

番号 2



番号 3





## 番号9

欧米の動き	アジアの動き
1776 アメリカ独立宣言	1757 インドでイギリスがフランスをやぶり、支配権確立
1789 フランス革命勃発	
1804 ハイチ独立	1792 ラクスマン、根室来航
1806 神聖ローマ帝国消滅	1796 中国で白蓮教徒の乱勃発
1812 ナポレオン軍のロシア遠征	1804 レザノフ、長崎来航
1815 ウィーン体制成立	1811 朝鮮で洪景来の乱
1810 米 ラテンアメリカ諸国独立(～20年代)	ムハンマド=アリー、エジプト統一
1817 ドイツ、ブルシェンシャフト運動	1819 イギリス、シンガポール買収
1821 ギリシア独立戦争開始	1821 伊能忠敬、『大日本沿海輿地全図』
1823 アメリカ合衆国大統領、モンロー宣言	1824 イギリス、第1次ビルマ戦争(～26)
1825 ロシア、デカブリストの乱	1825 江戸幕府、異国船打払令
1830 フランス七月革命、ベルギー独立	1830 オランダ、ジャワで強制栽培開始
合衆国でインディアン強制移住法	1834 イギリス東インド会社商業活動廃止
1832 イギリス、第1次選挙法改正	1839 トルコでタンジマート開始
1834 ドイツ関税同盟発足	1840 中国でアヘン戦争(～42)
1846 イギリス、穀物法廃止	1841 日本で天保改革
1848 ヨーロッパ各地で革命・暴動	1842 江戸幕府、薪水給与令
合衆国でゴールドラッシュ	1856 中国でアロー戦争(～60)

欧米の動き	アジアの動き
1776 アメリカ独立宣言	1757 インドでイギリスがフランスをやぶり、支配権確立
1789 フランス革命勃発	
1804 ハイチ独立	1792 ラクスマン、根室来航
1806 神聖ローマ帝国消滅	1796 中国で白蓮教徒の乱勃発
1812 ナポレオン軍のロシア遠征	1804 レザノフ、長崎来航
1815 ウィーン体制成立	1811 朝鮮で洪景来の乱
1810 米 ラテンアメリカ諸国独立(～20年代)	ムハンマド=アリー、エジプト統一
1817 ドイツ、ブルシェンシャフト運動	1819 イギリス、シンガポール買収
1821 ギリシア独立戦争開始	1821 伊能忠敬、『大日本沿海輿地全図』
1823 アメリカ合衆国大統領、モンロー宣言	1824 イギリス、第1次ビルマ戦争(～26)
1825 ロシア、デカブリストの乱	1825 江戸幕府、異国船打払令
1830 フランス七月革命、ベルギー独立	1830 オランダ、ジャワで強制栽培開始
合衆国でインディアン強制移住法	1834 イギリス東インド会社商業活動廃止
1832 イギリス、第1次選挙法改正	1839 トルコでタンジマート開始
1834 ドイツ関税同盟発足	1840 中国でアヘン戦争(～42)
1846 イギリス、穀物法廃止	1841 日本で天保改革
1848 ヨーロッパ各地で革命・暴動	1842 江戸幕府、薪水給与令
合衆国でゴールドラッシュ	1856 中国でアロー戦争(～60)

## 番号12

1893	ニュージーランド
1906	フィンランド
1917	オランダ、ソ連(ソヴィエト=ロシア)
1918	イギリス
1919	ドイツ
1920	アメリカ合衆国
1934	トルコ
1937	フィリピン
1944	フランス
1945	イタリア、日本
1947	中国(中華民国)
1948	韓国
1956	エジプト
1971	スイス

1893	ニュージーランド
1906	フィンランド
1917	オランダ、ソ連(ソヴィエト=ロシア)
1918	イギリス
1919	ドイツ
1920	アメリカ合衆国
1934	トルコ
1937	フィリピン
1944	フランス
1945	イタリア、日本
1947	中国(中華民国)
1948	韓国
1956	エジプト
1971	スイス

番号 14



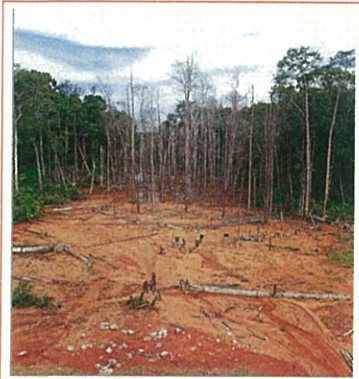
番号 17



**酸性雨の被害 (ポーランド, クラクフ)**

[削除]

番号 17

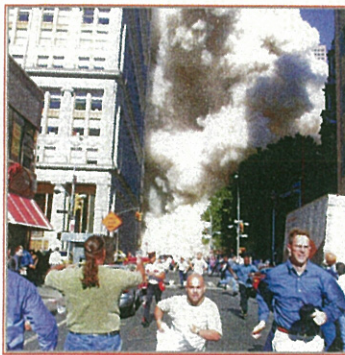


④熱帯林の崩壊 ほうかい おつたいりん 熱帯林は、世界の木材需要や畜産のため、急速に崩壊しつつあり、地球の大气への悪影響が懸念されている（インドネシア、ビントアン島）。



④熱帯林の崩壊 ほうかい おつたいりん 熱帯林は、世界の木材需要や畜産のため、急速に崩壊しつつあり、地球の大气への悪影響が懸念されている（インドネシア、ビントアン島）。

番号 18



## 番号 19



北京オリンピックの開会式  
(2008)



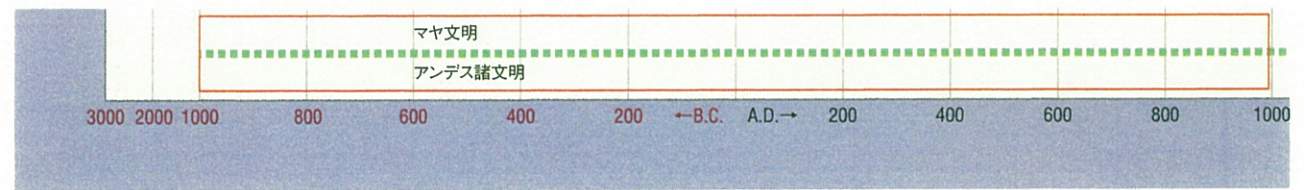
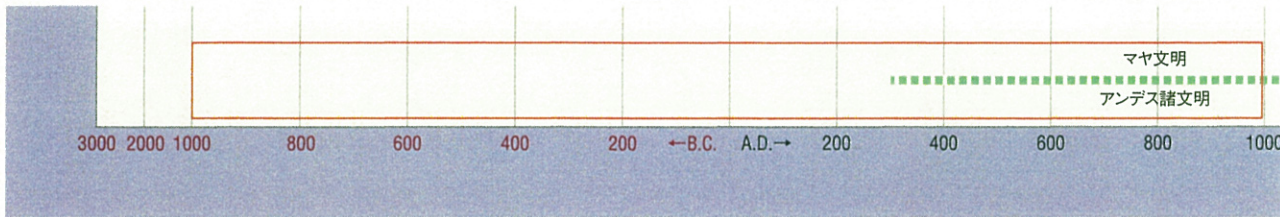
北京オリンピックの開会式  
(2008)

## 番号 20

1949	アメリカ合衆国, カナダ, イギリス, フランス, イタリア, オランダ, ベルギー, ルクセンブルク, ポルトガル, デンマーク, ノルウェー, アイスランドを原加盟国として発足
1952	ギリシア, トルコが加盟
1955	西ドイツが加盟
1982	スペインが加盟
1999	チェコ, ハンガリー, ポーランドが加盟
2004	エストニア, ラトヴィア, リトアニア, スロヴァキア, スロヴェニア, ブルガリア, ルーマニアが加盟
2009	アルバニア, クロアチアが加盟

1949	アメリカ合衆国, カナダ, イギリス, フランス, イタリア, オランダ, ベルギー, ルクセンブルク, ポルトガル, デンマーク, ノルウェー, アイスランドを原加盟国として発足
1952	ギリシア, トルコが加盟
1955	西ドイツが加盟
1982	スペインが加盟
1999	チェコ, ハンガリー, ポーランドが加盟
2004	エストニア, ラトヴィア, リトアニア, スロヴァキア, スロヴェニア, ブルガリア, ルーマニアが加盟
2009	アルバニア, クロアチアが加盟
2017	モンテネグロが加盟

番号 23



番号 26

ビスマルク	206, 328, 398, 421
255, 295, 298, 312, 348	フィリピン=アメリカ戦争
非政府組織(NGO) 433, 435	329
ビタゴラス	43
ヒッタイト	33
ビット	278
ヒポクラテス	43
非同盟諸国首脳会議	397
ヒトラー	373, 378, 382
ビニョー	326
ビノチエト	402
ビビン3世	145
「ビビンの寄進」	145
非暴力・不服従	365
卑劣呼	15, 94
秘密外交	351, 352, 354
百済	93
百年戦争	161
白蓮教	225, 332, 339
白蓮教徒の乱	332
「百科全書」	260, 268
ビュー	109
ヒューマニズム→人文主義	164
ビュウリタン	243, 247, 266
ビュウリタン革命	248
ビュウリタン文学	261
ビョートル1世(大帝)	256, 353
平戸	205, 212, 232
ピラミッド	32
ピリヤ	305
ビルグリム=ファーマーズ	266
ビルマ(人)	109, 195, 210, 326, 398
ビロード革命	417
「琵琶記」	184
ビンダロス	43
ヒンディー語	74, 223
ヒンデンブルク	350, 361, 373
ヒンドゥー教	71, 72
ヒンドゥー文明	71
<b>BI</b>	
ファシスト党	361
ファシズム	359, 361, 374, 383
ファシズム大評議会	361
ファシズム事件	311
ファーティマ朝	126
ファラオ	32
ファラオ	308
ファランクス	40
ファルツ継承戦争	252
フアレス	304
ファン=アイク兄弟	166
ファン=ダイク	261
ファン=チュウ=チン	329
ファン=ホイ=チャウ	329
フィウメ	361
「武帝の禍」	88
フィヒテ	280, 288
フィヤン派	278
フィラデルフィア	273, 274
フィリップ2世	153, 161
フィリップ4世	160, 161
フィリップス2世	44
フィリピン	107, 108

ビスマルク	206, 328, 398, 421
255, 295, 298, 312, 348	フィリピン=アメリカ戦争
非政府組織(NGO) 433, 435	329
ビタゴラス	43
ヒッタイト	33
ビット	278
ヒポクラテス	43
非同盟諸国首脳会議	397
ヒトラー	373, 378, 382
ビニョー	326
ビノチエト	402
ビビン3世	145
「ビビンの寄進」	145
非暴力・不服従	365
卑劣呼	15, 94
秘密外交	351, 352, 354
百済	93
百年戦争	161
白蓮教	225, 332, 339
白蓮教徒の乱	332
「百科全書」	260, 268
ビュー	109
ヒューマニズム→人文主義	164
ビュウリタン	243, 247, 266
ビュウリタン革命	248
ビュウリタン文学	261
ビョートル1世(大帝)	256, 353
平戸	205, 212, 232
ピラミッド	32
ピリヤ	305
ビルグリム=ファーマーズ	266
ビルマ(人)	109, 195, 210, 326, 398
ビロード革命	417
「琵琶記」	184
ビンダロス	43
ヒンディー語	74, 223
ヒンデンブルク	350, 361, 373
ヒンドゥー教	71, 72
ヒンドゥー文明	71
<b>BI</b>	
ファシスト党	361
ファシズム	359, 361, 374, 383
ファシズム大評議会	361
ファシズム事件	311
ファーティマ朝	126
ファラオ	32
ファラオ	308
ファランクス	40
ファルツ継承戦争	252
フアレス	304
ファン=アイク兄弟	166
ファン=ダイク	261
ファン=チュウ=チン	329
ファン=ホイ=チャウ	329
フィウメ	361
「武帝の禍」	88
フィヒテ	280, 288
フィヤン派	278
フィラデルフィア	273, 274
フィリップ2世	153, 161
フィリップ4世	160, 161
フィリップス2世	44
フィリピン	107, 108